

平成 29 年度第 1 回東浦町地域公共交通会議 会議録

| | |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会議名 | 平成 29 年度第 1 回東浦町地域公共交通会議 |
| 開催日時 | 平成 29 年 7 月 5 日（水）午前 9 時 30 分から午前 11 時 10 分まで |
| 開催場所 | 東浦町役場本庁舎 3 階 合同委員会室 |
| 出席者・欠席者 | 別添「平成 29 年度第 1 回東浦町地域公共交通会議委員名簿」のとおり |
| 議題 | (1) 平成 28 年度事業報告及び決算報告について【報告】 (2) 「う・ら・ら」年度別状況及び乗車人数（路線別・停留所別）について【報告】 (3) 「う・ら・ら」タクシーの運行状況について【報告】 |
| その他 | |
| 傍聴者の数 | 9 人 |

審 議 内 容

◆防災交通課長

定刻となったため、会議を開催する。

◇会長

今回は議題が 3 つある。皆様の意見、ご協力をお願いする。

◆防災交通課長

本日の出席委員は、委員名簿のとおり、28 名中 27 名で、定足数の過半数以上に達しているため、東浦町地域公共交通会議設置要綱第 6 条第 2 項により、本会議が成立したこと及び同条第 4 項により、会議は公開とし、本日の傍聴者は 9 名であることを報告する。

また、本日の会議の内容については、町のホームページで後日公開することを併せて報告する。

また、人事異動に伴う委員の変更があったため、新委員を紹介する。

◆防災交通課長

それでは引き続き議事に入らせていただく。

◇会長

次第に従い議事を進める。議題 1 平成 28 年度事業報告及び決算報告について、事務局から説明を求める。

議題 1 平成 28 年度事業報告及び決算報告について【報告】・・・資料 1-1、1-2

◆事務局 A

資料に沿って説明をする。

まず、資料 1-1 の平成 28 年度の事業報告について説明をさせていただく。1 の「地域公共交通会議」については、平成 28 年度は 5 回開催し、東浦町地域公共交通網形成計画の策定やバスロケーションシステムの導入などを中心に協議を行った。

2 の「東浦町地域公共交通網形成計画の策定」については、平成 28 年 11 月に、今後の町の方針を定めた東浦町地域公共交通網形成計画を策定させていただいた。

3 「バスロケーションシステムの導入」については、「う・ら・ら」の利便性向上のため、平成 29 年 3 月にバスの運行情報等をWEBサイトや電光掲示板でお知らせするバスロケーションシステムを導入した。電光掲示板の設置バス停については、アイプラ前、イオン東浦、緒川駅東口、げんきの郷、新田分団詰所、東浦駅、東浦町役場となっている。

4 「う・ら・ら」バスギャラリーについては、ハロウィンバスとクリスマスバスを運行させていただいた。内容としては緒川新田児童館や藤江保育園で子どもたちに描いてもらった絵をバスに飾り付けて運行したものとなる。

5 「う・ら・ら」&エコモビ達人教室では、平成 29 年 3 月に緒川保育園、藤江保育園及び東ヶ丘幼稚園の年長児を対象に、「う・ら・ら」の乗り方と併せて、バスに乗ることが地球にとって優しい乗り物だということをお話させていただいた。なお、東ヶ丘幼稚園については、緒川小学校や藤江小学校に通学する子供がいるとのことだったので、平成 28 年度から新たに開催をした。

6 「路線バスの広報等」は、産業まつりに出展し、「う・ら・ら」や知多バスの紹介をした。

7 「有料広告」については、平成 28 年度は 834,000 円となっている。積極的な声掛けにより、年々上昇傾向となっている。今後も収入確保に努めていきたい。

次に、前回の会議で副会長の加藤先生より、東浦町地域公共交通網形成計画に記載のある事業の平成 28 年度における実施状況等を説明していただきたいと意見があったため、今回の会議で、平成 28 年度に具体的に実施した事業を中心に説明をさせていただく。

まず、「1-1 公共交通の運行」については、「う・ら・ら」は運休もなく継続的に運行することができたため、○となっている。

「1-3 走行・待合・乗降環境の改善」については、バス停の時刻表防護板の取替や台風で倒れる心配のあるバス停の補強を実施した。

「1-4 まちづくり部局や観光部局、教育部局等との連携強化」については、学校教育課や緒川小学校と連携し、「う・ら・ら」の乗りこぼし対策の補完とし、タクシー運行を実施した。

「2-2 公共交通に親しむイベントの開催」は、先ほど説明したとおり、ハロウィンバスとクリスマスバスを運行した。

「2-3 高齢者の自動車運転免許自主返納の促進」については、平成 28 年度より東浦町高齢者運転免許自主返納支援事業を開始し、平成 28 年度は 143 名を支援させていただいた。選択のある支援内容の内訳としては、トイカ配布 58 名、マナカ配布 16 名、ICカードチャージ 18 名、タクシー助成券 51 名となっている。また、平成 29 年度の 6 月末現在においては、34 名を支援させていただいており、選択の内訳としてはトイカ配布 12 名、マナカ配布 2 名、ICカードチャージ 2 名、タクシー助成 18 名となっている。

「2-5 町運行バス「う・ら・ら」の利用環境の整備及び利用促進」については、先ほど説明させていただいたとおり、バスロケーションシステムを導入した。

「2-8 タクシーの運賃負担軽減策の実施」については、先ほど説明させていただいた東浦町高齢者運転免許自主返納支援事業の一環で助成券を導入し、利用促進を図っている。また、公共交通会議での話ではないが、町の福祉課の方でも、重度障害者に対するタクシー助成を行っており、平成 28 年度には 71 名の方に助成券を配布している。

「3-3 生活圏スケールでの公共交通利用に向けた連携」については、バスロケーショ

ンシステムを導入する際、他市町と協議を行い、結果として刈谷市と共同導入を実施したことで、経費節減を図るとともに相互利用促進を図った。

「3-4 町運行バス「う・ら・ら」の車両及びバス停留所への協賛促進」については、先ほども説明したとおり、積極的な声掛け等を行い、協賛促進を図った。

続いて、資料1-2、決算書について説明する。まずは、歳入について説明する。1款1項の負担金は、東浦町からの負担金として、513,000円、4款1項の諸収入は、預金利子として2円の決算額があり、合計で、513,002円の決算額となっている。

次に、歳出について説明する。1款1項の会議費は、地域公共交通会議の委員の報償費として、465,000円、2項の事務費は41,978円となっているが内容については後程説明させていただく。3項の食糧費は、会議用のお茶代として、6,024円の決算額となっている。

1款2項の事務費については、東浦町地域公共交通会議負担金返還金となるが、公共交通会議の決算残額については、翌年度繰越は行わず、町に全額返還することになっているため、決算残額である41,978円全額が事務費として計上されている。

◇会長

決算の内容について、監査委員の意見を伺う。

◆委員A

5月11日に緒川コミュニティセンターにて、監査委員である久米弘及び成田盛雄で、決算書類等を監査した。内容としては適正に処理されていたことを報告する。

◇会長

説明を受け、委員の意見を聴取する。

◆委員B

バスロケーションシステムの導入について、前回の会議の場で電光掲示板の字が小さいや、光の加減で見えづらいなどの意見が出ていたと思う。その後の対応状況を伺う。

◆事務局B

業者の方とすぐに連絡を取り、字の大きさを大きくしてもらうとともに画面の輝度の上げた。事務局が確認する限り、ある程度改善はされたと感じている。

◇会長

その後、苦情等はあるか？

◆事務局B

苦情等は聞いていない。

◆委員C

「東浦町地域公共交通網形成計画事業の実施状況について」の表について、「適宜改善」や「期間を通じて協議」という記載があるが、実施しているものと実施していないものがある。これはどういったタイミングで実施するものとなるか？きっかけのようなものはあるのか？何かを待っているということになるのか？

◆防災交通課長

何かを待っているということではなく、必要に応じてということになる。特に31年度にダイヤ改正が実施予定となっているため、よりよい公共交通網を築くため、それに向け、協議適宜行っていくということになる。

◆委員C

今後は検討結果だけでなく、どういう検討状況下になっているかなども報告していただ

けると助かる。

◇副会長

バスロケーションシステムについて、どの程度アクセスがあるか？

事務局A

最新の集計が手もとにないが、月に3,000件から5,000件の間で推移していると思う。
(その後事務局で調べ、モバイルサイトで4月は3,766件、5月は3,468件、6月は4,818件と会議の場で報告。)

◇会長

最近老人クラブで話をする機会があり、バスロケーションシステムの話もしたが、まだ導入されていることを知らないという方も多い。また、スマートフォンを利用している方も少ないので、利便性があがったと実感できる方は多くないと思う。若い世代への周知をもっと行えれば良い方向につながると感じる。

議題2 「う・ら・ら」年度別状況及び乗車人数(路線別・停留所別)について【報告】・・・
資料2-1、2-2、2-3

◆事務局A

資料に沿って説明する。資料2-1、年度別状況については、利用者人数は、平成28年度は255,814人で、平成27年度と比較して600人増加した。委託料総額は、70,844,764円、運賃収入と事務手数料を含めた収入金額は、16,154,722円、国の補助金は、9,048,000円、支払委託料は、45,642,042円となる。住民一人当たりの年間負担額は、909円である。

平成27年度と平成28年度の運賃収入を比較すると、406,952円のプラスである。内訳をみると、現金が960,048円減少し、回数券と定期券は増加している。現金での利用者が、回数券や定期券利用に推移したと考えている。

国からの補助金は、東ヶ丘長寿線と平池台長寿線で補助を受けているため、その内訳(東ヶ丘長寿線4,982,000円、平池台長寿線4,066,000円)を載せている。

資料2-2、路線別乗車人数について、表1は、各路線の月毎の乗車人数等を載せている。表2は、平成19年度からの利用者数の推移、表3は、平成27年度と平成28年度の各路線の比較、表4から表8は、各路線の平成27年度と平成28年度の月毎の利用者数の推移を載せている。平成27年10月1日にダイヤ改定を行っている関係で、改定後の影響を受ける4月～9月までの人数が大きく減となっている。特に刈谷線が大きく減便となってしまったので、減少数も多くなっている。東ヶ丘線は通学児童の増により、大きく増となっている。

資料2-3、平成28年度停留所別乗車人数について、月毎の数値を載せている。資料右下に27年度と28年度の増減人数トップ5・ワースト5を載せており、その中で気になった点について吹き出しで補足している。JA新田支店と森岡台集会所南については、朝の便で大きく減となっている。イオン利用者の減の可能性があると考えている。藤江小学校西については、通学児童の増による大幅な増となっている。しかし、平池台での利用者が減となっていることから、朝の通学は徒歩で行き、帰りはバスで帰宅するという児童が多くなったのではないかと考えている。アイプラ前の減については、県営住宅の建替えの関係で住居者が少なくなっていることや、高齢化がさらに進み、今まで利用していた高齢者が利用しなくなってきたことが要因と考えている。石浜住宅口については、石浜住宅

口ー緒川駅東口間での定期利用者が増えたことが要因と考えている。

刈谷駅南口については、減便による減が大きいですが、1便当たりの乗車人数を見ると、27年度は5.4人、28年度は5.8人と増加していることから、効率化にはなっている状況である。しかし、それよりも大幅な減をどうにかしなければいけないと感じている。

◇会長

説明を受け、委員の意見を聴取する。

◆委員D

アイプラ前の減についてだが、ここ最近、「あの人が乗らなくなったね、あの人も乗らなくなったね」という話をしている。やはり高齢化に伴い、利用者が減っていると思う。しかし、運転免許を自主返納した、という人の声も聞くので、そういった方が少しはバスに乗っていただけるのではないかと思う。

◇副会長

停留所別の乗車人数には、減少人数の記載があるが、減少率の記載もあるとよい。減少率が高いところは相生の松と森岡台集会所南だと思うが、相生の松がなぜこんなに減っているのかわかるか？

◆事務局A

相生の松は、通学利用に使われるバス停である。したがって、6年生が多く卒業し、新入学生が大きく減っていることが要因と考えられる。

◇副会長

小学生の利用が多くなっているにも関わらず、総利用者数が横ばいということは、全体的には減となっているということになる。どこを直していかなければいけないか、どこが特に原因となっているかという話になるが、事務局はどう考えているか。

◆事務局A

1番大きな要因は、刈谷線であると考えている。刈谷豊田総合病院の人数を見ると、刈谷駅南口と比べて減が少なくなっている。これは、車等がなく、どうしても病院にバスで行かなければならない人が多いためと考えられる。しかし、刈谷駅南口の場合、バスでどうしても行かなければならない用事は少なくなり、帰りの時間も気にしなければならないバスは避けられてしまったと考えられる。したがって、次回のダイヤ改正時に増便できれば、利用者の利便性が高まり、利用者が増えてくるのではないかと考えている。

◇副会長

やはり平池台から刈谷に行くという需要が多いということである。イオンに行く人が減っているということもあると思うが、刈谷から石浜という流れはもともと大きいところなので、考え直す必要がある。よく見ると平池台の利用者も減っているため、平池台から刈谷への流れを取り戻すため、次のダイヤ改正をよく考えなければいけない。どういう対応がよいかというのは難しく、悩ましいが、やはり通学児童のことも考えると増車しかないと思う。

◇会長

森岡台集会所南についても便数の減が要因なのか？

◇副会長

3割減となっているため、もっと構造的な要因と考えられる。新しく利用する方の調査をすることは簡単だが、利用しなくなった原因を調査するのは、非常に難しい。地域の方

に協力してもらい、直接聞いてもらうのが一番いいのだが、なかなかハードルが高い。

◆委員D

バスに乗れなくなり、「きずな」（福祉有料車両）を利用するようになったという人がいるということを聞いたが、そういった移行というものもあるのではないか。ただ、お金が高いので、あまり使えないという意見もあるが。

◇副会長

そういった車両に乗っている方に話を聞いてもいいかもしれない。一番まずいのは、「う・ら・ら」に乗れず、タクシーやそういった車にも乗れず、家に引きこもってしまうことである。そういった人の話を聞けるとよい。今は便数が少ないが、本来「う・ら・ら」は100円でこれだけ乗れるため、かなりよいものである。「う・ら・ら」がよいものだというをもっとアピールできるとよい。例えば各地区ごとにイオンに行くにはこの便に乗れば行ける、刈谷に行くにはこの便に乗れば行けるなど、分かりやすい「お出かけガイド」みたいなものを地区の人が作成し、地区の人に周知できると一番よい。

◆委員E

藤江の人は駅を利用するために「う・ら・ら」を乗る人が多いと聞いた。難しいと思うが、電車とのタイミングを考慮していただけると助かる。

◆事務局B

現在のところ、緒川駅の乗り継ぎ時間等を優先しているため、電車のダイヤを考慮していないが、次回のダイヤ改正に合わせて可能なかぎり考慮したい。

◆委員F

ここらの人は車に慣れているため、武豊線のダイヤ間隔である30分を待つことはとても苦痛であると文句を言っている人が多い。愛知県は恵まれており、他県では何時間に1本という電車も珍しくない。そういう贅沢な考えを変えていくことも必要なのではと感じる。

◇副会長

電車のダイヤの間隔が長ければ長いほどバスとの乗り継ぎは合わせやすい。武豊線は30分に1本となっており、バスとの乗り継ぎを合わせようとする時間としては短く、電車自体のダイヤとしては少し長いという中途半端な時間となっている。「う・ら・ら」は緒川駅での乗継ぎや緒川小学校の通学に合わせるという制約があるため、なかなかJRに合わせるのが難しい。また、東浦町は駅も複数あるため、時間帯によってどの駅で乗り継ぎをするのが一番良いかが変わってくるのも悩ましいところである。

◆委員F

乗継時間をつぶすために駅にコンビニなどがあれば良いと思うが、どうか？

◇副会長

前に無人駅のところにコンビニが多く入った時期があるが、今はほとんどつぶれてしまった。コンビニは、車で来る人が売上単価が高いが、駅は駐車場などもないため、車で来る人は少ない。学生は売上単価が低いため、なかなか利益に繋がらない。

◇会長

前に、駅で降りてバスの方に向かっている途中に、「う・ら・ら」が発発してしまった。電車が遅れた場合は「う・ら・ら」の出発を少し待ってなくてもよいのでは？と言われた。おそらく電車の到着時間と「う・ら・ら」の出発時間がほとんど同じ時間だったためにこういったことが起きたと思うが、こういう場合はどうすればよいのか？

◆委員G

ダイヤは絶対に守らなければいけない。それは鉄則である。他の市町でもそういった取扱いをしている。

◇副会長

バスと電車を必ず接合させるという接合書があるのであれば、待たなければいけないが、今はそういうものはない。また、JRも遅延することが多く、現状では電車の時間を待つというのは無理な状況である。

◆委員H

少し戻ってしまいが、資料2-3の平池台と藤江小学校の停留所の件だが、朝の通学の便で学校に行くと、学校に着く時間が少し遅くなってしまふ。したがって、朝の当番だったり、朝やることがあったりする児童は、朝のバスは使わず、歩いて通学をしており、朝の通学便の利用者が減っているという状況になっている。朝早く行かない児童もいるため、難しいと思うが、次回のダイヤ改正時には、もう少し早い便（10分程度早く）にしていただけと助かる。

また、資料2-1で国の補助金の話があった。今後も補助金をもらってほしいと思うが、一日何名ぐらい乗車すれば、大丈夫なのか？

◆事務局A

便数×乗車密度で計算される輸送量が15人となる必要がある。乗車密度というのは、バス路線中、バス車内に常に平均で何名乗っているのかということになるため、平池台で何名乗ればよいという話ではない。バス車内に継続的に乗り続けている人が多いとよいということになる。

◇副会長

長い区間をたくさんの人に乘ってもらうのが一番良いため、平池台の方が刈谷まで乗っていただくと一番良い。したがって、平池台から藤江小学校西の区間でたくさん乗っても、数字的にはあまり良くなれないということになってしまう。しかし、こういった計算方法で本当にいいのかということは今、国でも議論している。私もこのままでよいとは思っていないため、私もいい方向に進むよう、国に働き掛けていく。

議題3 「う・ら・ら」タクシーの運行状況について【報告】・・・資料3

◆事務局A

資料に沿って説明をする。

昨年度に協議を続けた、「う・ら・ら」の乗りこぼし対策として実施したタクシー運行の状況を説明する。タクシー運行については、大きなトラブルや遅延等もなく、問題なく運行できている。雨の日などは、渋滞することもあるが、時間的には余裕をもって終了できている状況である。また、資料には6月の状況は載っていないが、6月についても問題なく運行できているということを報告させていただく。

◆委員B

乗りこぼし対策として実施しているが、あくまで最低限の措置であり、根本的な解決にはなっていない。根本的な解決策について、今後もこの場で協議していただきたいと思う。

◆委員A

刈谷線など、他の路線に迷惑をかけているため、なかなか言いづらいところだが、今のタクシー運行ではまだ、解決となっていないため、できれば、増便などで対応していただけると幸いである。

◇副会長

あくまで緊急措置であるということを忘れず、今後の対応を考え続けてほしい。お金はかかることだが、今後の将来を担う子供たちのためのものであるため、道路整備等も含めて、いろいろとやってほしいものである。

◆委員 I

子供が中学生になって気づいたことだが、大雨の時に相生の丘周辺から自転車で中学校に通学するのはとても危ない。そういった時に中学生にも「う・ら・ら」で通学してもらえばとても安全であると感じるが、今の朝のバスでは、小学生だけで満員になっているため、それを勧めることもできないのが残念である。

また、最近、今まで朝のバスを通勤で利用していた人がいなくなった。子供たちにその人はどうしたの？と尋ねたところ、緒川駅に駐車場を借りて車で行っており、そのために車も買ったみたいと言われた。それもとても残念だと感じたので、今後の対応をお願いしたいと思う。

その他

◇会長

その他で何かあるか？

◆防災交通課長

次回の会議日程については、12月頃を予定している。また、詳細については近くなったら連絡させていただく。

◇会長

他はよいか？

◆委員 J

現在、エコモビ推進表彰の候補団体を募集している。もし推薦団体等があったら応募してほしい。

◇会長

他はよいか。

◆事務局 A

開催通知にも記載させていただいたが、今後委員報償金については、会議当日現金払いとさせていただくため、今後印鑑を忘れないで持参していただきたい。

◇会長

本日の議事日程をすべて終了した旨を告げ、閉会を宣告する。